

こんにちは  
魚沼市議会です



平成31年第1回定例会 No.64



「開 発」 小出高校 美術部  
渡辺 琳さん

## CONTENTS

定例会・補正予算・議案賛否の状況 … 2～3  
平成31年度会計別予算 …………… 4～5  
一般質問 …………… 6～14  
常任・特別委員会報告 …………… 15～17

平成31年度会計  
予算審査特別委員会報告 …………… 18～19  
市民の声・議会報告会・あしがき …… 20

〈発行責任者 議長 森島守人〉 広報編集特別委員長 高野 甲子雄 副委員長 星野 みゆき  
委員 星 直樹 浅井宏昭 大桃俊彦 佐藤敏雄

## 第1回定例会報告

平成31年第1回（2月）平成最後の定例会が、2月21日から3月19日までの27日間の会期で開催されました。市長の所信表明があり、平成31年度の予算編成方針には、「1. 人口減少問題対策、2. 地域経済の活性化、3. 健康・福祉の充実、4. 教育の充実、5. 安全・安心な地域づくり」の大きく5点が打ち出されました。

一般質問は、3月7日、8日の2日間にわたって、18人の議員が登壇し、市政に関して質問しました。

3月19日の最終日には、議案第6号、第16号に対し、修正動議が出されましたが、否決されました。23議案を可決し、条例案1件を否決、陳情3件を不採択としました。

\*議案賛否の状況は3ページをご覧ください。

## 第1回定例会補正予算

| 会計名               |       | 補正前の額       | 補正額        | 計             | 主な内容  |
|-------------------|-------|-------------|------------|---------------|---|
| 一般会計(第6号)         |       | 283億5,340万円 | △2億560万円   | 281億4,780万円   | 【歳入】<br>市税、国の補正予算関連などに係る国庫支出金、市債の追加・調整、ふるさと寄附金、財政調整基金などの追加、各事業の実績見込みなどに伴う県支出金や特別会計からの貸付金元金の償還分の減額<br>【歳出】<br>国の補正予算関連、市単独事業の前倒し関係の事業費、ふるさと結基金への積立金などの追加、特別会計・企業会計への繰出金及び貸付金の減額、各事業の実績見込みに伴う所要額の調整及び財源内訳の変更・調整など |
| 一般会計(第7号)         |       | 281億4,780万円 | 534万3千円    | 281億5,314万3千円 | 【歳入】<br>歳出の補償金、賠償金にかかる保険金の追加<br>【歳出】<br>生きがい活動支援通所事業利用者の事故に伴う補償金及び青島野球場で開催された軟式野球大会において発生した選手の傷害事故にかかる和解に伴う賠償金の追加   |
| 国民健康保険特別会計(第2号)   | 事業勘定  | 36億4,850万円  | △1,480万円   | 36億3,370万円    | 【歳入】<br>県支出金の追加、実績見込みによる一般会計繰入金の減額<br>【歳出】<br>実績見込みによる国民健康保険事業費納付金の減額など   |
| 後期高齢者医療特別会計(第2号)  |       | 8億3,290万円   | △1,510万円   | 8億1,780万円     | 【歳入】<br>実績見込みによる一般会計繰入金及び受託事業収入の減額など<br>【歳出】<br>実績見込みによる後期高齢者医療広域連合納付金などの減額   |
| 工業団地造成事業特別会計(第1号) |       | 8億6,800万円   | △8億5,260万円 | 1,540万円       | 【歳入】<br>実績見込みによる水の郷工業団地用地売却収入及び一般会計借入金金の減額<br>【歳出】<br>実績見込みによる一般会計借入金元金の償還金及び工業団地造成事業の減額など  |
| 病院事業会計(第1号)       | 収益的収入 | 8億2,400万円   | △300万円     | 8億2,100万円     | 企業債償還利息の実績による減額、それに伴う一般会計負担金の減額   |
|                   | 収益的支出 | 9億1,900万円   | △300万円     | 9億1,600万円     |   |
|                   | 資本的収入 | 8億3,000万円   | △4,300万円   | 7億8,700万円     | 各事業の実績による減額、それに伴う企業債、一般会計出資金及び一般会計負担金の減額  |
|                   | 資本的支出 | 8億4,900万円   | △4,300万円   | 8億600万円       |   |

### 本会議の映像配信をしています

本会議の映像をインターネットで配信しています。パソコンのほかスマートフォン、タブレット端末からも視聴できます。魚沼市議会ホームページにアクセスいただき、ぜひご覧ください。

また、会議録も議会事務局、図書館(室)、ホームページで閲覧できます。



### 「市民の声」の原稿を募集します

- 字数350字程度 ● タイトル
  - 住所・氏名（匿名での掲載はできません）
  - 顔写真を同封のうえ、お寄せください。
- （顔写真の掲載を希望されない場合は不要です）

送り先 魚沼市議会事務局  
(魚沼市今泉1488番地1)

### お詫びと訂正

第63号16ページ中学生議会で質問した生徒の氏名に誤りがありました。お詫びして次のとおり訂正します。

谷内詞哉 議員



平成31年度予算案をチェック

# 税金の使い道が決まりました

## 総額

474億7,700万円

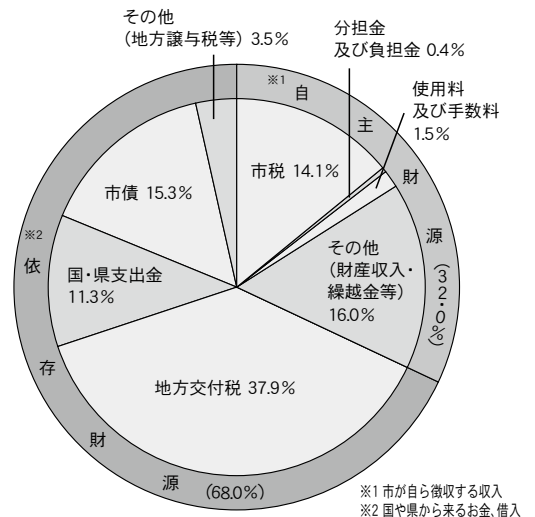
## 一般会計予算

288億5,000万円

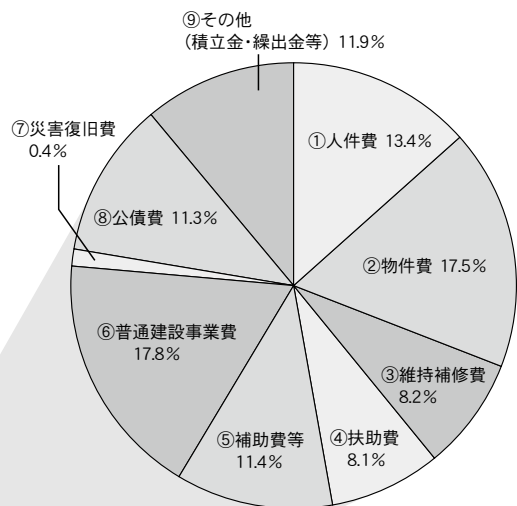
| 一般会計 |             |
|------|-------------|
|      | 288億5,000万円 |

|       |                   |             |
|-------|-------------------|-------------|
| 特別会計  | 国民健康保険(事業勘定)      | 33億3,200万円  |
|       | 国民健康保険(直営診療所施設勘定) | 1億3,300万円   |
|       | 後期高齢者医療           | 8億2,500万円   |
|       | 介護保険              | 49億1,800万円  |
|       | 工業団地造成事業          | 8億5,700万円   |
|       | 企業会計              | 病院事業        |
| ガス事業  |                   | 18億8,400万円  |
| 水道事業  |                   | 15億3,600万円  |
| 下水道事業 |                   | 38億6,300万円  |
| 計     |                   | 186億2,700万円 |

一般会計歳入(財源別)



一般会計歳出(性質別)



## 歳出について

|          |  |
|----------|--|
| ①人件費     | 市長や職員の給料、議員や非常勤特別職の報酬など                            |
| ②物件費     | 非常勤職員賃金、物品購入費、委託料など                                |
| ③維持補修費   | 市が管理する施設の修理費や除雪費など                                 |
| ④扶助費     | 生活困窮者、身体障害者等に対してその生活を維持するために、法令に基づいて支出される経費        |
| ⑤補助費等    | 市が市内の団体などに補助するために交付する費用など                          |
| ⑥普通建設事業費 | 道路の新設などの工事費や除雪機械などの高額備品の購入費など(今年度は、新庁舎建設費も含まれています) |
| ⑦災害復旧費   | 被災した道路や農地などの復旧工事費など                                |
| ⑧公債費     | 市の借入金(地方債)の返済元金、利子                                 |
| ⑨その他     | 特別会計、公営企業会計への繰出金や、基金への積立金など                        |

# 主な重点事業

皆さんから納めていただく税金の使い道を審査しました。  
その中から一部事業を紹介します。

## 1 人口減少問題対策

### 地域おこし協力隊受入事業

事業費 3,400万円



都市部の人が市内に住民票を移し、地域の問題解決や活性化を図ります。3年間(上限)の任期終了後に、地域おこし協力隊が移住・定住できるよう支援します。

### 観光管理事業

事業費 3,332万9千円



浦佐駅に南魚沼市と共同で観光案内所を設置し、新幹線などからの魚沼の玄関口として観光案内を充実します。

### 子育ての駅運営事業

事業費 1,916万円



「子育ての駅かたくり」に開設したキッチンスタジオや和室で各種教室を開催します。

## 2 地域経済の活性化

### ふるさと結基金事業

事業費 4億2,262万6千円



返礼品を活用し、本市の特産品の利用拡大につなげていきます。

### 誘客宣伝事業

事業費 6,919万8千円



インバウンド観光客の受け入れ体制を充実させます。

### 商店街等活性化事業

事業費 1,224万9千円



キャッシュレス化への対応を促進するための補助金のほか、共通ポイントカード「ゆきんこカード」の導入を支援します。

## 3 安全・安心な地域づくり

### 庁舎再編整備事業

事業費 22億7,730万円



引き続き新庁舎の建設を進め、来年3月までの完成を目指します。

### 防災行政無線等管理事業

事業費 4,153万5千円



新庁舎の建設に関連して防災行政無線設備や震度情報ネットワークシステムの機器を移設するほか、J-ALERT自動告知システムの更新を行います。

### 防犯対策事業

事業費 732万2千円



新規事業として防犯カメラ設置に取り組みます。

## 魚沼市経済の景況感を問う



佐藤 肇

**答** 市民が景気の上向きを実感できるまでには至っていない

**問** 1 平成31年度は、新天皇即位に伴う10連休やラグビーワールドカップ開催で、海外からのインバウンドや国内旅行の増加で内需が期待される一方、消費税増税のマイナス要因もある。経済の先行きをどのように見込んでいるのか。

**2** 雇用環境において、医療介護職の人材不足が深刻だ。返済免除奨学金を介護職にも拡大できないか。

**答** 1 市民税が増加していることから、やや明るい兆しが見え始めたとは思いますが、市民が景気の上向きを実感できるまでには至っていないと感じている。

**2** 若者定住就職奨励金等の雇用施策により、U・Iターン者を確保したいとする医療法人、社会福祉法人等にも支援を広げていく。

魚沼市の美味しい水販売事業に参入する考えはないか

**問** ボトル飲料水の需要は年々増加している。平成31年度に魚沼の水ボトリング事業を実施するようだが、一歩進めて魚沼市ガス水道局のブランドで、一般販売飲料水事業に参入してはどうか。水を通じ、市のPRにもなるがどうか。

**答** 今回は庁内各部署での会議、イベント等での使用のみとし、現段階において販売は考えていないが、今後、収益化できるか検証、検討していく。

## 人口減少に歯止めがかからない現状を問う



関矢 孝夫

**答** 若者を含めあらゆる世代からの意見を聞いていきたい

**問** 当市の人口は昨年10月1日現在3万6,470人で一昨年より597人減少している。合併後14年間で、合併前の守門村と入広瀬村を合わせた人口より多い約7,100人減少しており、人口減少に歯止めがかからない。特に若者の流出を減らすために、若者がどうすればこの魚沼市に定住もしくは戻ってくるかが課題であり、次の点を問う。

1 人口減少の約4割が転入者より転出者が多い社会減である。転出者の中で15歳から29歳までが約5割を占め、その5割が職業を理由としている。市長は雇用の場を力を入れていくが、成果と課題を問う。

**2** 子どもたちに住みたい魚沼市の未来像などのアイデアを聞き、その思いをまちづくりに反映させることが、若者流出を防ぐ一歩になると考えるがどうか。

**答** 1 水の郷工業団地では立地企業の就業者数が既に1,000人を超えているほか、このたび操業した魚沼醸造の従業員も、今後地元採用者に切り替える方針と聞いている。また、市内企業に対しても雇用拡大に向けた事業の拡大や投資を支援するほか、大手企業の受け入れ策を検討している。

課題としては、労務系のマンパワーを必要とする職種への応募が少ないことや、市内企業から誘致企業への転職により人材が流動的になることが挙げられる。

**2** 中学生議会などを通じて若い世代の意見も聞いている。今後も市民との対話を進める中で、あらゆる世代からの意見を聞きたい。

## 教員の負担軽減について問う



星野みゆき

**答** 部活動指導員を配置するなど負担軽減に努める

**問** 先生方の休職により学校に対しての不安な声が聞こえてくる。精神疾患による休職は、学校や児童生徒に多大な影響をもたらす課題である。教員の多忙化の解消、行き届いたメンタルヘルスへの取り組みなど、業務改善を早急に進める必要があると思われる。

**1** メンタルヘルス不調の教員が増加する中、教育委員会ではどのような対策を講じているのか。

**2** 教員の多忙化解消のために、魚沼市教育委員会独自の取り組みは何かあるのか。

**3** 教育をサポートする介助員、事務的な補助員を増員すべきと思うがどうか。

**答** **1** 教員のストレスチェックを実施し、高ストレス判定者には相談窓口を紹介するなどメンタルヘルス不調の未然防止を図っている。また、学校の分析結果を学校長に通知し、職場環境の改善、働きやすい職場づくりを進めている。

**2** 業務効率化のため、平成32年4月に校務の電算化を開始できるよう準備している。また、平成31年度から中学校の部活動指導員を1人ずつ配置し、部活動担当の負担軽減を図る。

**3** 平成31年度に介助員を3名増員する。事務補助員については、平成30年度から国・県の事業を活用し、スクールサポートスタッフを小出小学校に1名配置している。引き続き教員の負担軽減を目的とした体制づくりを進める。

## コミュニティ協議会への行政のかかわり方は



大桃 俊彦

**答** 必要に応じてサポートしていく

**問** コミュニティ協議会の問題解決に対して、行政として主導する考えはあるか。また、あくまでも協議会主体で考えるべきと考えるか。

**答** 行政が主導しての支援は考えていないが、支援の一部として、集落やコミュニティ協議会単位での話し合いを促進し、課題の抽出と解決に向けた検討を行う「集落点検」を実施している。今後も、地域の課題解決への主体的な取り組みにあわせて、集落支援員と住民が一緒になり、必要に応じてサポートしていくなどの支援を検討していきたい。

小出郷総合体育館のギャラリ―使用について

**問** 冬季間は市民に無料開放をして有効活用してはどうか。

**答** 無料開放は、市民の冬季間の運動不足の解消や施設の利用率向上に有効な手段と思う。しかし、ほかの体育施設等の利用者との均衡性、公平な負担、受益者負担の原則という点から、今までどおりとしたい。



# 若者が定住したくなるまちづくりを



浅井 宏昭

**答** さまざまな機会で若い世代の意見を聞いていきたい

**問** 若者が帰ってきたくなる魚沼をつくるには、多くの若者の意見を受け止める場が必要ではないか。

**1** 中学生・高校生が中心となり、素朴で素直な意見を気軽に表明できる場や環境が必要だと考えるがどうか。

**2** 「高校生と若者会議によるディスカッション」の中で「魚沼に夢を見つけれない」「魚沼に帰ってきたいと思わない」という意見が出ていた。高校生から魚沼のまちづくりについて意見してもらい、人口減少対策に生かしてはどうか。

**3** 秋田県湯沢市では「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例」を施行している。魚沼市でも若者、若い女性の声を可能な限り生かしてまちづくりを考えてはどうか。

**答** **1** 中学生議会のほかにも、魚沼市政にかかわりを持つ場を創出できるように検討する。

**2** そのような否定的な意見も含めて本音の話が聞けたようで、市としてさまざまな機会をとらえて若い世代の意見を聞いていきたい。

**3** 行政機関の話し合いの場に女性の参画を進めている。まちづくりに参画しやすい環境が整うようにしていきたい。



「うおぬま若者会議」の様子

# 国民文化祭で地域発信を



岡部 計夫

**答** キッズミュージカルやこども芸能祭で発信していく

**問** 第34回国民文化祭が9月15日から11月30日まで、県内7つのエリアで開催される。地域文化を対外的に発信する絶好の機会と考える。湯沢・魚沼エリアでは「真白き世界に隠された知恵と出会う」というテーマのもと、どのようなイベントが行われるのか。

**答** 雪国観光圏などにおいて、雪国に関係する講演会やテレビ制作・放送、料理教室など計画している。魚沼市の独自事業としては、9月に「魚沼産☆夢ひかりキッズミュージカルプロジェクト」、10月に「うおぬまこども芸能祭」を実施する。また、魚沼更生園や魚沼学園の皆様の作品を展示するなど、障害者芸術・美術展としての参加も計画している。

**問** 人口減少社会に対する取り組みについて

**問** 第三の人口といわれる「関係

人口」について、国際雪合戦参加者ふるさと納税寄附者、地域おこし協力隊員、友好都市など交流する人たちを、魚沼市と関係する「関係人口」としてどう結びつけるのか。

**答** 本市出身者や、ふるさと納税寄附者などに対して、本市を応援いただける会員証のようなものを発行し、地域づくりにかかわっていただけるような仕組みづくりを進める。

**問** 外国人労働者の確保について

**答** 人口減少で、若者を中心に労働力不足が課題となってきた。外国人労働者を受け入れる窓口を開設してはどうか。

**答** 外国人であるかどうかにかかわらず、将来的に定住いただき、労働力として定着できる人材を確保すべきであり、そのための取り組みを今後も進めていく。



### 市発注工事の積算検証体制を問う



大平 栄治

**答** 担当部署内でのチェック体制を構築している

**問** 1 総務課、環境課、商工観光課、北部振興事務所、教育委員会等では、見積価格の妥当性を見られる技術職がいらない。どうチェックしているのか。

**2** 長岡市では、最低予定価格を漏らし、職員から逮捕者を出した。魚沼市の場合、入札予定価格の最高額と同額の入札が多数見られる。なぜこのようなことが起きるのか。

**答** 1 定期異動により建設工事実務経験者が在籍している場合もある。担当者が積算を行い、担当部署内でのチェック体制を構築している。このほか、専門的高度な知識を要する建設工事には設計監理等の委託を行うなど、適正な積算となるよう努めている。  
**2** 業者側は入札公告等で示された設計図書や仕様書等に基づき入札額を積算していると認識しており、よ

り有利な価格で落札を目指しているのではないかと推察している。

### 寿和温泉大規模改修工事を問う

**問** 1 平成29年11月に寿和温泉改修工事の設計を発注している。この時点で改修工事の全体概要が決まっていたことになる。なぜ、設計前に議会や地域住民に説明しなかったのか。

**2** 全くずさんな計画だと言わざるを得ない。市民の声をよく聞いて事業を進めることを求めたいがどうか。

**答** 1 公共施設再編整備計画策定段階で意見交換会を実施し、嘱託員会議でも改修内容の説明を行った。議会に対しても報告している。  
**2** 改めて話し合いを持って、しっかりと合意形成を図っていききたい。

### 大湯温泉地区、佐梨川河川改修と観光振興について問う



星 直樹

**答** 大湯温泉活性化委員会での意見をまとめ検討していく

**問** 1 河川管理者の県との協議等はどうに行われてきたのか。あわせて大湯温泉地域の河川改修計画の進捗状況はどうか。

**2** 河川改修にあわせて河川敷遊歩道など、河川敷公園の整備をしてはどうか。

**3** 観光客が魅力を感じる温泉街の再生のためにも、大湯温泉一周コースの整備を推進すべきではないか。

**答** 1 下流域から実施された治水事業は芋川工区まで進み、現在は大湯工区の改修計画を検討していると聞いている。内容については県から情報提供を受けている。  
**2** 関係団体から要望があれば、河川改修工事を行う県に発信していきたい。  
**3** 大湯温泉活性化委員会や周遊コース、ウォーキングコースの提案が出ている。意見をまとめ、観光協会、地元等の主体的な取り組みに対し、市も一緒に整備を検討していく必要がある。

75歳以上の人間ドック費用助成について

**問** 1 75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者は、人間ドック助成制度があることを知らない人が多い。きめ細やかな対応が必要ではないか。

**2** 魚沼市後期高齢者医療人間ドック助成事業実施要綱第4条の助成金の額に1万円を加算して、魚沼市国民健康保険1日人間ドックと同額の2万円にすべきではないか。

**答** 1 後期高齢者医療制度に保険が切り替わる方からの問い合わせが多いので、国民健康保険の人間ドックと合わせた時期にも広報したい。  
**2** 後期高齢者は基本健診が無料で受けられるので、人間ドックの助成額を増額する考えはない。

### 魚沼市の高齢者対策について問う



佐藤 敏雄

**答** 生きがいづくりとしての活動を支援していきたい

**問** 1 高齢者が自立して地域社会で過ごしていくためには、老人クラブやシルバー人材センターなどへの積極的な支援が必要と思うがどうか。

- 2 高齢者等から要請のあったボウリング施設の設置はどうなっているか。
- 3 特別養護老人ホームの50床増床計画の進捗状況はどうか。
- 4 大規模改修を計画している寿和温泉を、介護付き高齢者施設などとして県外からの高齢者受け入れは考えられないか。
- 5 介護士などの不足している人材について、国が門戸を開いた外国人雇用を検討してはどうか。

**答** 1 地域社会の活性化や、就業を通じた高齢者の健康維持に大いに貢献していただけるよう、運営支援をしていきたい。

2 昨年3月に旧大沢小学校体育館

をお見せし、管理運営主体を検討するとのことだったが、今年度になつてからは要望等をいただいております、特に進捗はない。

- 3 入所定員を増やす取り組みは重要課題だが、介護・看護人材の確保が非常に大きな障壁となっており、進捗について報告できる部分がない。
- 4 現段階では高齢者福祉施設として改修する考えはない。
- 5 県において外国人人材確保の支援制度が4月に開始される予定であり、市町村がその実施主体になる可能性があるので、県の動向を注視していきたい。必要があれば市としても検討したい。

※このほか、がんの早期発見と予防対策について3点の提案をしながら質問しました。

### 斎場建設瑕疵担保請求について問う



大桃 聰

**答** 引き続き納入いただけるようお願いします

**問** 監査勧告の対策として、旧地権者に面会し4回目の催告をした。立ち会っていないごみ処理費用の支払いに同意するとは思えないが、その成果と今後の対策について問う。

**答** 納入に同意するという発言はなかったが、今後の訪問は了解いただいた。引き続き納入いただけるようお願いする。

**問** ハラスメントについて

**問** 教育委員会でのセクハラで処分者を出した。快適な職場環境をつくるために根絶しなければならぬ。職員に実施したアンケートではパワハラ・セクハラ被害の報告も多数あるが、根絶に向けた取り組みについて問う。

**答** ハラスメント防止研修を引き続き実施するとともに、相談体制の強化にも力を入れる。

総務課長の懲戒処分について

**問** 市報11月10日号の表紙写真を不適切と気付いていながら市長に報告もせず、発送の差し止め、配布の中止、回収等の対策をとらなかった責任は自身にあると総務課長が答弁した。処分をする考えはあるのか。

**答** 処分は考えていない。

入札の官製談合について

**問** 長岡市の事件は、予定価格を県議秘書に漏らし、最低制限価格びつたりの入札があったことで発覚するが、当市は予定価格びつたりの入札が平成29年度は36件ある。これ为官製談合はないと言えるのか。

**答** 検証はするが、そのような恐れはないと認識している。

## 公契約条例の制定で建設業の人材確保を



高野甲子雄

答

条例の制定は考えていない

問

1 道路や橋が耐用年数を迎え、土地改良、除雪、災害対応、公営施設の整備事業もあることから、今後建設業の仕事は増えていくものと考えられる。市長の見解はどうか。

2 魚沼市でも建設業の若年労働者が減っていると感じるが、市長の認識はどうか。

3 国では建設業の人材確保策として、設計段階で労務単価を上げていくが、末端の労賃は上がった実感がないといわれる。市長の認識はどうか。

4 持続可能な地域づくりのために、人材育成・確保は不可欠であり、安定した収入の確保が必要である。事業者、労働者、市の三者にメリットがある公契約条例を魚沼市が制定する意義は大きいと思うが、制定する考えはないか。

答

1 市民から多数の要望があり、整備してある施設も維持管理が伴う。建設業の仕事量は、一定量の維持は必要と考えるが、先行きは不透明としか言えない。

2 同感であり、建設労働者の高齢化と従業員の減少は課題と捉えている。

3 国は6年連続で労務単価の引き上げを行い、市もこれに準じて対応してきた。実感については個別の調査をしていないのでお答えできない。

4 国では将来にわたる公共工事の品質確保とその中長期的な担い手の育成・確保を基本理念とした法整備を実施し、建設労働者の賃金の確保及び離職防止に努めている。本市もこれに準じて対応しているため、条例の制定は考えていない。

水道事業の民営化について

問

自治体の水道事業の民間委託を促進するためといわれる「改正水道法」が成立した。生命に直結する水道事業は民間委託すべきでない。市長の考えはどうか。

答

民営化は考えていない。

## 住みよさランキングの検証を



本田 篤

答

経済対策を行い、市民の所得向上を目指す

問

東洋経済新報社発行の住みよさランキングで、魚沼市は全国で前回814市中587位であったが、今回は683位と順位を落としている。

1 市税が増収となり喜んでいようだが、実際には他の市町村も伸びており、当市の地方税収増加率は全国486位である。抜本的な経済対策ができていないと考えているか。

2 財政面では人口1人当たりの地方債残高は87万6000円で全国774位と厳しい状況にある。より一層の再生に向けた計画が必要ではないか。

3 納税者1人当たりの所得は245万9、800万円で、全国761位である。所得倍増計画なるものも必要ではないか。

答

1 若者の転出抑制やU・Iターン促進、また、農林業、製造業、商工業から観光にわたって事業を拡充した予算としている。

2 長期間にわたって使用する施設整備は、市民負担の世代間の公平の観点からも地方債を財源とすること

は必要である。有利な地方債を活用し、財政計画の見直しも検討していく。

3 本市が県内でも低位に位置していることは認識している。働く場の確保とあわせ、事業者の意見を聞き地域経済に波及効果が生まれるような発注形態を構築し、市民の所得向上を目指す。

PCB廃棄物について

問

市民の安心安全のために、支援策を検討してみてもどうか。

答

県や民間による支援策があるので、市としては考えていない。

電気自動車急速充電器の普及について

問

十分な整備がされているとは言いがたい。改めて再整備を検討してみてもどうか。

答

新庁舎建設にあわせ、充電器の設置の検討を指示している。

### 所信表明と予算編成について問う



遠藤 徳一

**答** 新駅単体でなく新庁舎周辺のまちづくり構想を策定する

**問** 1 羽根川地区の新駅構想の実現に向け努力するとした。都市再生整備計画事業と連動させ、調査費用を新年度予算に盛り込むべきでないか。

**答** 2 只見線沿線上の4つの地域拠点を活性化させることが新駅構想につながる。拠点の1つである入広瀬の穴沢地区の地域資源、寿和温泉改修費用を計画半ばで凍結した。今後どう進めるか。活性化に向けた計画ではなかったか。

**答** 1 只見線新駅は新庁舎や小出病院付近の羽根川地区を想定している。周辺の道路や住宅等も含む整備計画が必要であることから、新庁舎周辺のまちづくり構想を策定し、夢で終わることなく第一歩を踏み出したい。

**答** 2 さまざまな意見が寄せられているので、市民との合意形成を図るため予算計上を見送った。

児童虐待禁止条例制定について

**問** 東京都知事は児童虐待から社会全体で子どもたちを守る観点で、児童虐待防止条例の検討を進めるとした。当市も事例があるが、条例制定をしようか。

**答** 法令等に基づき関係機関が連携し防止対策を講じており、機能していると認識しているので、法令を超える条例制定は考えていない。

機能別消防団(組織)の重要性について

**問** 団員確保が難しい中、多くの方々から地域防災活動に参加いただくためにも、基本団員と別に災害特性に合わせ活動できる機能別消防団の検討に入ってはどうか。

**答** 団員減少に歯止めがかからないため、機能別消防団員の導入の検討が必要と考えている。

### 地域経済の活性化について問う



富永三千敏

**答** 民間事業者の主体的な取り組みを支援していく

**問** 1 地域経済を元気にするには、広義の観光を考え実践することが必要である。豊かな自然と雪国の風土、伝統文化、農産物、製造技術、全ての産業を観光資源と捉え、広く発信しなければならぬ。これには連携が必要である。観光立国基本法・基本計画、観光圏整備法の施行や観光庁設置以来、国は観光立国を目指している。観光施策の方向性と民間・行政の連携をどう考えるか。

**答** 2 「食でつながる元気なまちづくり推進事業」を健康課から企画政策課に移管し、庁内連携を強化すると聞いた。取り組みの違いは何か。また、数値目標を設定して実施するべきでないか。

**答** 3 ダムカードの交付や雪流れのダムなどの訪問者が多い。機械除雪などインフラ観光を実現する支援はないか。産業会館の整備はできないか。

**答** 1 県とともにPRやハード面の整備など観光振興策を進めている。市としては、昨年度から開始した観光プラットフォーム事業や中国民泊仲介サイト「途家(トゥージャー)」との観光連携協定などの取り組みを行うほか、観光協会や民間事業者の主体的な取り組みに対してサポートしていきたい。

**答** 2 企画政策課に移管し、関係者全体に横串を通すことでより事業効果を高めていく。数値目標を設定することは事業の評価に有効と考える。

**答** 3 除雪関連インフラは観光資源になり得ると思う。しかしインフラ観光を実現するには、事業者自らそれをビジネスにつなげていくという強い意志と実行力が求められる。事業者が取り組みを進める際には、協議し支援方法を検討したい。産業会館については研究したい。

## 県「原子力災害広域避難計画」案をどう考えるか



大屋 角政

**答** 対策の入り口と捉えている

**問** 新潟県は、原子力災害広域避難計画を発表した。

1 県の原子力災害広域避難計画をどう考えているか。

2 魚沼市は避難者の受け入れ自治体になっているが、魚沼市民と他自治体からの避難者受け入れが両立しうるか。

3 魚沼市地域防災計画（原子力災害対策編）の改訂についてはどのような考え方で行うか。

**答** 1 安全な避難方法の検証も継続中であり、また、県知事も話しているように対策の入り口と捉えている。今後、検証・修正を重ねながら成案されると考えている。

2 市民が避難しなければならぬ事態が生じた場合は、市民の生命、安全を第一に考えるべきである。

3 県の防災計画等との整合を図り

ながら改訂を進めていく。

消費税増税対策について

**問** 政府は、今年10月から消費税

率を10%に引き上げることを決めている。市長は、消費税増税に対して市内経済に悪影響が及ぶことのないよう市民の購買意欲低減対策をしっかりと行うとしているが、具体的に市単独の対策をどう考えているか。

**答** キャッシュレス化対応に向けた支援策の新設や、インバウンド拡大、消費税率引き上げに対するポイント還元による消費喚起を図るなど、地域経済が落ち込まないよう取り組んでいく。

## 認知症支援の充実とサポートを



志田 貢

**答** 徘徊者の早期発見のためメール配信システムを検討する

**問** 厚生省の推計では、2025

年の65歳以上の高齢者は3,657万人で、うち約700万人が認知症になると発表された。

1 認知症の方が起こした鉄道事故など、家族に高額な損害賠償を請求されるようなケースが起きた場合の保険等のサポートができないか。

2 事故、事件が起きる前に徘徊者を早期発見できるように、民生委員や認知症サポーターに加え、協力していただける市民に電子メール等配信するなど、早期に周知ができるシステムを構築できないか。

**答** 1 魚沼圏域内では、損害保険に加入してもらおう事業等を実施している市町村はないようだ。今後研究していきたい。

2 メール配信システムは早期発見に有効と考えるので検討する。

外国人介護職員の受け入れについて

**問** 経済連携協定に基づいて、日

本の介護施設で就労・研修をしながら、日本の介護福祉士資格の取得を目指す方々のことをEPA介護福祉士候補者という。平成20年度から受け入れを開始し、累計で3,492人もの方が介護福祉士候補者として受け入れられている。

市としても、慢性的な介護人材不足解消や、福祉施設の量的不足の解消のため、外国人介護職員の受け入れ体制を構築してはどうか。

**答** 県において外国人材確保の支援制度が4月に開始される予定であり、市町村がその実施主体になる可能性があるので、県の動向を注視していきたい。必要があれば市としても検討したい。

# 保育所の民営化を見直してはどうか



大平 恭児

**答** 民営化は十分な検討を行い進めていく

**問** 1 今後、市は民営化に際してどうかかわっていくのか。

**2** 多様な保育のニーズや保育の質を確保しながら民間での運営が成り立つのか。

**3** 保護者や地域、関係者から民営化を望む声が強くなっているのか。

**4** 保育の質を確保するために行政が責任を果たしていくことが重要だ。民営化を見直す考えはないか。

**答** 1 認可手続は県が行うが、

市は適切な定員設定や市で定める運営基準が守られているかを確認する。不備があれば市による改善勧告や確認の取り消しなどの行政処分を課すことができる。これらの手続を通して市が関与していく。

**2** 民間保育園を支援する制度があるので、新たな団体等の参入に対して、現在と同じような取り扱いをしていく。

**3** 要望等はあるが、好意的に受け止めている方も多く、幅広く反対等の意見は聞いていない。

**4** 保育の質は公立、民間の別なく自治体の責務として確保しなければならない。公立園の再編も含めた民営化の検討を行っていく。

北部事務所のあり方について

**問** 1 支所化はしないとした北部事務所は、職員体制や予算と権限など示されていない。現状維持なのか、手厚くするのか。

**2** 庁舎再編基本計画に示された「支所化」の重みをどう認識しているのか。

**答** 1 権限は今までどおりである。施設の管理事務は新庁舎へ集中させるが、サービスの後退はさせず、

効率的になるよう努める。

**2** 連合自治会長会議で、支所の名称にはこだわらない、これまでどおりのサービスが続くよう努力してほしいという意見をいただいた。したがって支所の名称にこだわらず、行政サービスにしっかり取り組んでいく。

# 骨髓ドナー助成制度の創設を



渡辺 一美

**答** 助成制度の検討を始めている

**問** 白血病などの患者を救う骨髓移植は、提供者の通院・入院時の時間的な制約や、会社で休業補償がないなど、ドナーに係る負担が重い。命のボランティアを支援する骨髓ドナー助成制度を立ち上げるべきと考えるがどうか。

**答** 事業対象から外しては、立地適正化計画に沿った「都市再生整備計画事業」とはいえない。堀之内市街地を計画に入れるべきと考えるがどうか。

**問** 助成制度について検討を始めた。都市再生整備計画事業における堀之内地域のまちづくりについて

**答** 所信表明において、市長は「都市再生整備計画事業」を進めるとし、対象地域は新庁舎周辺を含む小出市街地だけであった。この事業は「立地適正化計画」の策定が要件であり、魚沼市立地適正化計画は、地域に必要な都市機能を整備する「都市機能誘導区域」を小出市街地と堀之内市街地を設定している。堀之内市街地

**答** 堀之内市街地では平成20年度から平成24年度にかけて、堀之内地区都市再生整備計画事業により、都市計画道路等の整備や地域コミュニティの支援等の事業が完了しており、既に事業の成果を得ている。

副市長の2人制について

**問** 副市長の人数は条例で2人まで置くことができるとされている。国とのパイプ役の東川副市長と内部統制役の副市長の2人にすることについて市長の見解を問う。

**答** 新年度から市の組織が部制となり、庁内体制の整備を行うことから、当面は現行のままとする。

## 総務委員会報告

2月5日

1 議会報告会での意見・要望について

●臭気問題について

臭気測定方法や立入検査、今後の対策予定について説明を受けた。

●クマの出没情報の提供について

確認が容易な県の「にいがたクマ出没マップ」に情報提供し、市のホームページからもアクセスできるようにしたとの報告を受けた。

●新ごみ処理施設建設の進捗について  
建設予定地周辺集落への説明会の状況について報告を受けた。

●コミュニティFM難聴取地区について

平成32年度までに解消するよう順次進めているとの説明を受けた。

●消防本部のヘリポートについて  
使用実績について説明を受けた。

※いずれも引き続き調査することとした。

2月28日

1 審査事件

陳情第3号

「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情書

問 今後、臨時・非常勤職員の数、必要性をどう考えているか。

答 アウトソーシングや民営化ができるものについては、それを行うことで非常勤職員、正規職員の人員削減も図られる。会計年度任用職員制度と並行し、アウトソーシングや民営化の計画づくりを今まで以上にしっかりと取り組んでいくことで課題が解決できると考えている。

※賛成少数で不採択とすべきものと決定。

議案第16号

魚沼市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

問 昨年は特別職報酬等審議会から月額1万円の引き上げの答申があり、市長からは附則で平成31年3月31日までは現在の支給額に据え置くとの提案であった。本年度は倍額の

2万円増額の答申そのままでの提案であるが、どこが昨年度と変わり、こうした提案になったのか。

答 市内の経済循環はよくなっているとの認識しているが、市民の気持ちには、まだまだ閉塞感があると認識している。私としては審議会が出した答申をそのまま提案し、議会の判断をいただきたい。

※賛成少数で否決すべきものと決定。

議案第15号・17号・19号・26号

※原案可決すべきものと決定。

2 その他

●平成31年度地方税制改正について  
●洪水ハザードマップ作成及び避難場所等の選定について



改修工を終え、グランドオープンした「子育ての駅かたつきり」で遊ぶ親子

●子育ての駅「かたつきり」について  
●臭気問題について  
執行部より説明を受け、質疑を行った。

## 福祉文教委員会報告

3月1日

1 審査事件

議案第20号・21号・37号

※原案可決すべきものと決定。

2 小中学校のエアコン設置工事の進捗状況について

普通教室のエアコン工事の第1期分は2月に完了した。第2期分は工事契約が完了し、機器の納入が4月までに終わる見込みだ。夏までには全部使えるよう進めているとの説明があった。





エアコン設置工事（湯之谷中学校）

3 湯之谷小学校の結露等について  
 湯之谷小学校の結露について、工事とは別の第三者に調査を依頼した。今後、専門家の分析を待って対処する。結露対策の費用を市が負担するかについては、新築校舎で保証期間中であり、設計や施工に問題がなかったのか、調査結果を待ち対応する。ランチルームは除湿器で対応するとの説明があった。

4 児童生徒の携行品に係る配慮状況について  
 児童生徒の荷物が重いことへの配慮について、学校によって違いはあ

るが、家庭学習に必要な教科書やノートは学校に置いておくことを認めている。また、学期末など一度に大荷物にならないよう学校側も工夫しているとの説明があった。

5 介護人材の状況について  
 市内事業者に人手不足の状況についてアンケートを実施し、9事業所から回答があった。看護師の不足以上に有資格介護職員が不足している。どの事業所も、介護職が不足している部分を、その他の一般職員で賄っている状況が鮮明となった。今後は離職状況などさらに詳しく調査を行うとの説明を受けた。

6 小出病院のインフルエンザ集団感染について  
 1月17日に入院患者がインフルエンザに感染し、19日に90代の患者1名が死亡した。患者が発生した病棟を一時閉鎖する対策を取ったが、結果的に患者13名、看護師6名が発症した。現在は平常に戻っているが、面会に制限をしている。

7 入広瀬小学校新入学児童について  
 同校区内で学齢に達した児童1名が須原小に入学するため、昨年に続

き入学者は0となった。次年度は学齢に達する児童が5名いる。

8 子ども・子育て支援ニーズ調査結果について  
 本調査は、保護者の子育てニーズを調査し、次の魚沼市子ども・子育て支援事業計画に反映させるため、小学生と就学前保護者にアンケートを行った。速報値は新年度半ばになる。

9 小出郷図書館の状況について  
 1階に市民交流スペースを設け、読み聞かせスペースを2階に移設する。3階に要望が多かったサークル活動や学習のための多目的スペースや文化財などの展示スペース、教科書センターを移設する予定としている。平成31年度に改修計画を検討する。

## 産業建設委員会報告

3月6日

### 1 審査事件

#### 陳情第1号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

※不採択とすべきものと決定。

#### 陳情第2号

長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情書

※不採択とすべきものと決定。

#### 議案第22号

魚沼市道路占用料徴収条例の一部改正について

問 改正により当市の占用料の収入はどの程度影響を受けるか。

答 概算で5万円程度の増収を見込んでいる。

※原案可決すべきものと決定。

#### 議案第23・24号

※原案可決すべきものと決定。

#### 議案第25号

魚沼市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について

問 改正によりこの資格を取ることが難しくなるのか。

答 今現在の資格はそのままに、付与する部分になるので、難しくはならない。

※原案可決すべきものと決定。



議案第28号

市道路線の変更について

**問** 道路の整備が伴うと考えるが、いつごろの予定か。

**答** 小須原5号線は道路改良の予定はない。宮原6号線は平成31年度中に測量、工事をしたかと考えている。

※原案可決すべきものと決定。

2 その他

魚沼市旅行券事業について

冬期間の宿泊を対象とした割引事業を実施し、1月4日の受付開始から9日間という短期間で予算額に到達、受付を終了した。実績としては昨年とほぼ同様であったと説明を受けた。

魚沼市行政ポイントの発行について

4月1日から「夢カード」と「ときめきカード」を一本化し、市内全域で使える「ゆきんこカード」が使用開始となることにあわせて、市が実施する事業の参加者に対して「ゆきんこポイント」に交換できる行政ポイントを付与する。執行部から付与対象事業、行政ポイント券交付方法、付与ポイント数等について説明を受け、質疑を行った。

平成30年度農作物渇水対策事業について

平成30年7月の渇水に対して市が行った電気料・燃料費等の助成事業の集計結果について報告を受けた。また、今後このような渇水が起こる可能性も高いことから、より実効性のある補助金交付要綱に変更することも考えていく旨の説明を受けた。



行政ポイントを  
うおぬまポイントカード会加盟店で交換する様子

議会報告会にご参加いただくと  
行政ポイントを10P  
もらえます

公共施設再編整備  
特別委員会報告

2月7日

既存庁舎の活用について

昨年8月に広神庁舎と入広瀬庁舎についてサウンディング調査を行ったが、堀之内庁舎についても3月4日・5日にサウンディング調査を行うとの説明を受けた。

**問** 堀之内庁舎については、商工会や地域の方から提案があったと思うが、どうなったのか。

**答** 市民検討会の意見としてまとまっており、当該団体等に何度か話を伺ったところ、サウンディング調査があるなら提案者として参加したいという意向が示されたので、それも含めて検討したいと考え調査を実施することとした。

**問** 申し込み状況はどうか。

**答** まだ申し込みはないが、参加意向があると思われる問い合わせは複数あった。

**問** 小出庁舎について、解体した跡地に地域の商工団体等から人の集ま

る施設建設を要望されているが、市は「小出郷福祉センター」の機能移転先となる集会施設の建設について検討している」としている。これは公共がつかると考えているのか。

**答** 有利な方法を検討していきたい。

**問** 入広瀬庁舎についても、将来の子どもに負担をかけないよう民間活力を使う方向にシフトしていくべきである。検討してほしいがどうか。

**答** 民間活力を使いたいのが、民間が投資をしてくれるかどうかの問題である。跡地にどのようなものが必要かを決めてから進めたい。

※結果について、再度委員会で報告を受けることとした。



# 平成31年度会計予算審査特別委員会報告

(主な質疑)

## 総括

### 職員給与費

**問** 職員給与費は合計で35億5,485万円、平均786万4,700円、1日当たり3万5,426円、1時間当たり4,571円になる。高いと思わないか。

**答** 制度に基づき支給している。

**問** 下げる気はないか。

**答** 考えていない。

**問** 寒冷地手当は合計で2,683万円、1人平均5万9千円だ。廃止する気はないか。

**答** 考えていない。

### ＩＴ関連業務の一元化

**問** 一元化を目指し、技術職員の涵養をし、合理化を検討したかどうか。

**答** 専門職員の確保が困難などのことから外部委託をしていく。

**問** 外部丸投げは言いなりの予算とならないか。

**答** 市のルールに基づいた手続きによって発注しているので、言いなり予算にはならない。

### 一般会計

**問** 子ども・子育て支援臨時交付金  
これは今年度のみ交付されるのか。

**答** 幼児教育無償化に要する経費に充てるもので、平成31年度のみ消費税増税対策の一環で国から交付される。

### 観光施設使用料

**問** 市直営施設からも温泉使用料を徴収したほうが、経費が明確になるのではないか。

**答** 条例で規定されており、変える考えはない。

**問** 温泉使用料の滞納が発生した原因と回収をどうするか。

**答** 経営難による滞納が平成25年度から2件発生し、回収に努力している。

### 弁償金

**問** 斎場建設事業における前地権者への瑕疵担保請求は債権となっていない。予算計上は認められないかどうか。

**答** 民法の規定による損害賠償請求権が現時点での市の債権であると認識している。

**問** 写真など客観的な証拠が存在しない。架空請求ではないか。

**答** 少ないが写真はある。市の監督員や請負事業者が確認している。

### 地域おこし協力隊受入事業

**問** 何人受け入れる予定か。

**答** 横根・福山新田・下折立・須原・大湯温泉地区等で8人計画している。

ふるさと結基金事業について

**問** 寄附金が約7億円と大幅に増加する一方で、経費も大幅に増額しているかどうか。

**答** 返礼品や業務委託料で一定の割合がかかるため、増額する。

**問** 返礼品の中身は何か。工夫しているか。

**答** コシヒカリなど食品が中心だが、花や温泉券、体験ものなど工夫をしている。

うおぬま出会いサポート事業について

**問** この事業の対象人数はどうか。

**答** 男女30名程度を予定している。

**問** 商工会・JA等との連携が必要と思うが。

**答** そういう団体も含め、連携できるところは連携していく。

### 困っている方は多くいる。他市のように個別希望を把握して、別組織で常設窓口を設置したり、ボランティアを公募してみてもどうか。

**答** 今後の課題として検討する。

### 総合計画管理事業

**問** 市民意向調査の目的と調査方法はどうか。

**答** 第二次総合計画後期基本計画

の策定に向け、市民1,000人を対象に郵送で行う。

### 情報ネットワーク移設事業

**問** 新庁舎への移設事業は今年度で完了するのか。

**答** 平成32年度完了となる。

### 賦課徴収事業

**問** 税金の不納欠損を防止するため、電話催告とあわせ訪問業務強化を求めたいがどうか。

**答** 時期を決め、税務課職員で集中的に訪問業務を行っている。

### 老人クラブ助成事業

**問** 1老人クラブ30人以上が一律5万円の補助額では、公平性に欠けるのではないか。

**答** 県の補助金を受け交付している。会員数の多いクラブもあり、代表や事務局の意見を伺いながら検討が必要な時期にきているかと思う。

**問** 今後、意見交換をすべきではないか。

**答** 必要に応じて対応する。

### 新ごみ処理施設建設事業

**問** 建設候補地について地元の理解が得られず事業が遅れている。新候補地を探してはどうか。

**答** 現時点では今の候補地で進めたい。

地域バイオマス施設管理運営事業

**問** 有機センターの指定管理や委託化が進まない主な理由は何か。

**答** 修繕費などで採算性が悪いことや、臭気対策を進めているが解決に至っていないことなどである。

商店街等活性化事業

**問** キャッシュレス化対応促進補助金の内容は何か。

**答** 市内中小事業者を対象に、キャッシュレス決済に必要な機器類の購入費用を補助する。

**問** 予算150万円で対応が可能か。

**答** 30件を想定しており、対応できると考えている。

観光管理事業

**問** 浦佐駅に観光案内所を設置するが、負担割合はどうか。

**答** 南魚沼市と共同で設置し、2分の1ずつ負担する。

誘客宣伝事業

**問** インバウンドの入込客数を把握しているか。

**答** 市内宿泊事業者に協力をお願いして調査している。平成29年が712人、平成30年が1,618人である。

**問** 3カ月に1回の宿泊者数調査を毎月報告してもらい、その情報をリアルにつかむために事業者に戻せないか。

**答** 事業者の負担も考え、現状のまま取り組みたい。

寿和温泉管理運営事業について

**問** 平成30年度に露天風呂を1億1,050万円かけて改修したが、客数や収支見込みはどうか。

**答** 約200名の増と、収支では約10万円の増を見込んでいる。

**問** 温泉と温水プールも改修予定と聞いていたが、新年度予算にない。中止したのか。

**答** 改修方針をめぐりさまざまな意見が出たため、再度意見を聞き、合意形成を図ったうえで方向性を示したい。

消防管理事業

**問** 防災ヘリ等の夜間運用は可能か。

**答** 日没後の運用は行っていない。

**問** ヘリコプター燃料の備蓄、供給体制はどうか。

**答** 基地へ戻る程度は備蓄している。使用後は県が補充している。

防災対策事業

**問** 工事請負費355万3千円の内容は何か。

**答** 放射性汚泥を保管している旧大沢下水処理場について、現在施設周囲に設置しているコンパネ製の柵を撤去し、鋼製の立ち入り防止柵を設置する。

**問** 洪水ハザードマップ更新事業

の進捗と今後の予定はどうか。

**答** 千年に一度の大雨を想定した浸水区域が国と県から示されたことを受け、マップの修正案を連合自治会長会議で説明した。各地域内での意見集約と防災会議を経て確定し、マップを作成・配布する。

**問** 避難所等の見直しと地域防災計画の修正を考えているか。

**答** 避難所等の見直しが必要であれば対応する。あわせて地域防災計画も修正する。



本田篤特別委員長

教育支援事業

**問** 就学援助制度で新入学用品の前倒し支給が実施されるが、何月に支給するのか。

**答** 中学校入学分は3月に支給する。小学校入学分は来年度からであり、今後周知をする。

**問** 国も支援の拡充を行ってきている。当市も対象項目や基準の拡充

を行う考えはないか。

**答** 国の制度に準じて援助を行っている。その他の支援策もあり、市独自の拡充は考えていない。

**問** 当市は生活保護基準の1.1倍で、県内他の自治体より低い基準額である。引き上げるべきではないか。

**答** 今後の検討課題としたい。

国民健康保険特別会計

**問** 健診結果に異常があり、その通知を出した後の再診状況はどうか。

**答** 保健師が電話や訪問で再診につなげている。

後期高齢者医療特別会計

**問** 低所得者の保険料9割減免と8・5割減免が、2年をかけ7割減免に縮減される。平成31年度の対象人数は何人か。

**答** 1,010人を見込んでいる。

**問** どう周知するのか。

**答** 7月の納付書と一緒に対象者に送付するとともに、市報やFM魚沼で周知を図る。

介護保険特別会計

**問** 認知症の人が外出し帰れなくなり死亡する事故が起きている。認知症の人に持たせるGPS発信機の貸与ができないか。

**答** 最近は機器も改良され小型化されているが、認知症高齢者の見守りシステムなども含め可能か検討する。

魚沼で生きる

並柳 山之内 隆さん

魚沼市の高齢化率は全国平均の20年先を走っているそうです。日本の高齢化率は世界第1位ですので、魚沼市は、なんと世界でトップクラスということになります。初代地方創生大臣の発言を思い出しました。「地方の皆さんはもっと知恵を出してください。知恵を出したところに国は予算をつけるんです。もっと必死にならなきゃダメです」

私は今、並柳民芸保存会で活動しています。先日も発表会があって、子どもたちからは練習していた十日町小唄、花笠音頭、廣大寺が披露されました。うまく踊れた子、練習の成果が発揮できなかった子、ハラハラドキドキ、感動の一日となりました。私たちは、かつて経験したことのない縮小社会の中で生きています。大臣の言う「知恵」は確かに必要です。自治会、コミュニティ協議会が両輪となって活性化を模索しています。来年の発表会には、ぜひ大臣にも、魚沼に住む子どもたちの目の輝きを見ていただきたいと考えます。

それぞれ・さまざま

古新田 並木 新一さん

私には脳裏から離れない言葉がある。高校時代、先生との対話のときである。私が「出る杭は打たれる」と発した途端、「出ない杭は伸ばせないと返された。当時、消極的だった私には、先生から檄を飛ばされていけると感じた瞬間だった。行動によって物事は変わると教えていただいた。大切な言葉である。」

ところで、最近講談が静かなブームとなっているそうです。私も話芸にはかねてより興味があり、NHKで放映されている「日本の話芸」を毎週見ている。中身の濃いストーリーを現実に見ているかのように巧みな話術で魅せ、まとめ上げる。全くもって見事なものである。

さて、市民の代表である議員の方々が、さまざまな課題を議論している市議会である。市民にとって市政をリアルタイムで知ることができ、最適な場所だ。傍聴に出かけるもよし、エフエム魚沼で聴くもよし、「こんにちは魚沼市議会です」を読むもよし、常に市政に関心を持ち続け、議員の皆さんの臨場感タップリの発言に耳を傾けたい。

議会報告会を開催します

この議会だよりをもとに、定例会の審議内容や結果について報告を行います。

また、皆様から市政についてのご意見をお聞きします。大勢の方のご参加をお待ちしています。

| 日時                     | 地区    | 会場              |
|------------------------|-------|-----------------|
| 5月9日(木)<br>午後7時~8時40分  | 入広瀬地区 | みずほ会館(横根)       |
|                        | 湯之谷地区 | 魚沼市地域振興センター 2階  |
| 5月10日(金)<br>午後7時~8時40分 | 広神地区  | 並柳担い手センター       |
|                        | 守門地区  | 宮原高齢者コミュニティセンター |
| 5月11日(土)<br>午後7時~8時40分 | 小出地区  | 中原公民館           |
|                        | 堀之内地区 | 根小屋生活改善センター     |

※当日はこの議会だよりをお持ちください。

あとがき

この冬は暖冬小雪となつた魚沼市。例年より1カ月早く、季節が進んでいるような気がします。

魚沼産コシヒカリが特Aに復帰でき「ほっ」としています。雪解け水が美味しいお米を作ると聞いていますので、まだ心配事が尽きません。

四季がはつきりしている魚沼市にとっては、夏は暑く、冬はしっかりと雪が降ってもらいたいと思っています。

春を迎え、子どもたちにとっては区切りの季節です。

私たち社会人もこの時期に新たな目標を定め、1年をスタートするいい時期だと感じています。

魚沼市議会としても市民の皆様力になれるよう、精進していきたいと思えます。

(星 直樹)

今回の表紙は 小出高校美術部です

小出高校美術部は、週3回美術室で活動しています。主に文化祭や高等学校総合文化祭などに作品を出品しています。和やかな雰囲気の中で自分の作りたいものを作り、お互いに鑑賞やアドバイスをしあって楽しく活動しています。